


徳島大学附属図書館の活動について



徳島大学大学院 地域科学専攻1年
出口桜子

ライブラリー・ワークショップ (LW)

- 学生、教員、図書館職員と一緒に活動
- 学生が主体となりイベントを企画・運営
- 週1度ミーティングを実施



ミーティングの様子。
積極的に意見を出し合っています

どんな企画やイベントがあるの？

- ポスター作成・・・LWの魅力伝える
新学期に向けてメンバー募集




- 季節や時期に応じた展示企画
- 意見を出し合い書架の展示テーマを決定
- 夏休み前「テストが終わった後に読みたくなる本」
- 秋「映画化・ドラマ化された本」

4





●一人展示・・・スペースを自由に活用
テーマ、ディスプレイを考える

メンバーから
4人の有志による
個性豊かな一人展示

8

↓『オススメの推理小説』
展示者が勧めたい推理小説の数々。

↑『アニメ化された本』
アニメの原作を取り上げて展示。

9

↓『哲学に関する作品』
哲学好きな展示者が皆に勧める“哲学”。

↑『芥川賞・直木賞受賞作品』
これまで芥川賞・直木賞を受賞した作品を一挙展示。

10

●「LOVE LIBRARY LETTER」の発行

- 新聞形式で月一回のペースで発行
- それぞれ担当を決めて記事を書く
- 「News」「今月の一冊」「心に残る名言」など

記念すべき第1号。
館内や許可を得た学校内の
スペースに配置。

11

誰でも手に取りやすいように、
館内の目立つところに
置いています。

手作りのサイコロ。
コラムのお題を決める際、
担当の教員・職員に
振ってもらいます。

12

●POPコンテスト

- 勧めたい本のポップを募集
- 誰でも応募可能
- LWのメンバーが集計、展示、投票を行う



← 図書館カウンター横に
開催告知のボードと、
手作りの回収BOXを。

13



↓ ホワイトボードに貼って、
メンバー、教員、職員の間で
投票を行いました。

↑ 応募作品と本を
一緒に書架に展示。



14

LWの活動を通して

- 学生同士だけではなく教員、職員とも交流
- さまざまな目線から図書館を考えられる
- 知識の幅が広がる
- 本を通して意見交換の場が作られる

15

LWの成果とは？

- 学生、教員、職員それぞれの目線で図書館を考える
- 年代を超えた交流が可能
- 利用者が親しみやすい空間を作る
- 読書推進の場を設ける

16



図書館活性化を目指して

17

学習支援STUDY SUPPORT SPACE (SSS)

- 図書館1階で開催
- 「繋ぎCreate」という団体が主催
- 授業の質問、レポートの書き方、学習の仕方
- 教員、大学院生が対応

18

阿波ビブリオバトルサポーター

- ビブリオバトルを徳島にも普及させたい
- 学生、教員、職員がスタッフとして運営
- 6月に徳島初のビブリオバトルを開催
- 10月に地区決戦を開催予定

19

どんなサポーターがいるの？

- LWのメンバーもサポーターとして活躍
- 様々な活動を行っているイベント好きな学生も参加
- 市民の方々からの協力も

20



21



22



23



24

